



日本宝くじ協会助成事業概要のお知らせ

公益社団法人全国少年警察ボランティア協会は、令和6年度、一般財団法人 日本宝くじ協会の助成金を受けて、少年健全育成資料の作成・配布事業を下記のとおり実施いたしました。

記

1 助成事業名

令和6年度 健全育成資料（小・中学生用）「健全育成ハンドブック」の作成・頒布
助成事業

2 助成事業者名

公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会

3 配布先

47都道府県全国少年警察ボランティア会員、47都道府県小・中学生及び保護者、
全国の図書館、マスコミ、賛助会員、47都道府県小・中学校教職員、全国教育委
員会

4 配布数量

小学生用79,000部 中学生用79,000部 合計158,000部

5 助成事業の概要

- (1) 全国の少年警察ボランティアは、各活動地域の小・中学校や地域において、非行防止教室や健全育成講習等を行い、参加する小・中学生、保護者等に対し、子どもに係わる非行や犯罪、危険や被害等の実態とともに、それらを防止するため知っておきたい事柄について説明して訴えかけていますが、その際に小冊子をテキストとして配布しています。

その冊子が「健全育成ハンドブック」で、年齢層（小学生向け・中学生向け）に応じて、身近な題材を取り上げ分かりやすく説明していますが、令和4年度は、小学生用79,000部・中学生用79,000部の合計158,000部を作成し、ボランティア活動従業者はもちろん、小中学校関係者等からも高く評価されていることから、小中学生の児童、生徒、保護者、小中学校教職員、そして全国の教育委員会、図書館、新聞社等に配布し全国で活用することとしました。

- (2) 本資料は、牧野カツコお茶の水女子大学名誉教授を責任者とする編集委員会を設け教育、心理、社会学等の分野の学識経験者、小・中学校校長等教育現場責任者のほか、警察庁少年課長、科警研少年研究室長及び少年警察ボランティアなど編集委員12名の参加を得て検討を重ねて作り上げたものです。

- ① 特に、スマートフォン等のインターネット接続機器の不適切な使用による危険性、覚せい剤・大麻等の薬物の危険性と弊害、酒・タバコの危険性のほか、人の心を深く傷つけるいじめを強調しています。
- ② 小学生向け、中学生向けとも、規範意識、ルールの遵守、自分の行為への責任

自覚、相手への思いやり等を強調する記述となっています。

③ 随所に保護者向けアドバイス欄を設けています。

この小冊子の配布を通して、少年警察ボランティアの活動を学校の児童・生徒及び教職員や青少年育成関係者にも広報するとともに、ボランティア自身の認知度アップにもつなげています。

また、事業結果を全少協ホームページ及び機関紙「みちびき」に掲載し、社会に広く少年警察ボランティアの活動を理解してもらうとともに、地域・学校・家庭が一体となり、子どもを見守り育てるためのネットワーク作りにつなげています。

※ 機関紙「みちびき」

年4回（4月、7月、10月、1月）発行しています。1回の発行部数は、概ね2万5,000部です。

(3) 最近の少年非行をめぐる情勢ですが、刑法犯少年の検挙人員は毎年減少を続け戦後最小となっているものの、大麻事犯で検挙された少年が増加して薬物乱用の拡大が続いており令和5年は1,222人（前年比+310人）と大幅に増え、近年は高止まりの状況が続いています。

また、スマートフォン等の普及により、中高生だけではなく低年齢層の児童にもインターネットの利用が広まっており、SNS等に起因する事犯の被害児童数は高い水準で推移しています。

本冊子では、具体的に「身を破滅させる覚せい剤・大麻等の乱用」「オレオレ詐欺に加担しない」「安全なインターネットの使い方」「ネットで出会った後は、どうするか」等と題して問題点をとり上げて示すなど、より現状に即した内容として掲載し、多くの方に配布しました。

なお、当協会のホームページから本冊子を閲覧することができます。

6 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人全国少年警察ボランティア協会

住所： 〒102-0093

東京都千代田区平河町1丁目8番2号 山京半蔵門303号

代表者： 理事長 田中 法昌

担当者： 事務局長 柴田 佳幸

電話番号： 03-3239-4970

FAX： 03-3556-1133

E-mail： info@zensyokyo.or.jp

URL： <http://zensyokyo.or.jp>